

V 和漢薬研究所セミナー

研究所セミナー

第94回セミナー 平成8年1月25日

Kwang Ho Ko (Professor, Seoul National University, Korea)

Monoaminergic transmission in the regulation of seizures in genetically epilepsy prone rats

第95回セミナー 平成8年2月1日

Martin Marsala (University of California, USA)

Role of spinal glutamate receptors in the central facilitation after peripheral nociceptive action

第96回セミナー 平成8年4月16日

L. Kruger (Professor, UCLA, USA)

The small sensory ganglion cell : the most versatile neuron

J. Gebhart (Professor, University of Iowa, USA)

Visceral nociception and its modulation by opioids

E. Perl (Professor, University of North Carolina, USA)

Development of sympathetic and adrenergic excitation of sense organs for pain after partial nerve injury

R. F. Schmidt (Professor, University of Wurzburg, Germany)

The physiology and pathophysiology of acute and chronic arthritic pain

第97回セミナー 平成8年5月8日

Donglu Bai (Director, Chinese Academy of Sciences, China)

Traditional Chinese medicine and new development

第98回セミナー 平成8年7月2日

野村靖幸 (高次神経機能部門教授, 北海道大学薬学部教授)

脳免疫相関への薬理学的アプローチ

門田重利 (化学応用部門教授)

未知の特効薬の探索

第99回セミナー 平成8年7月15日

大竹 徹 (大阪府立公衆衛生研究所)

エイズ

第100回セミナー 平成8年9月2日

市原和夫 (北海道薬科大学教授)

虚血性心疾患治療薬の新しい考え方

第101回セミナー 平成8年10月4日

劉 国卿 (中国薬科大学教授)

Calcium antagonists from Chinese medicinal herbs

第102回セミナー 平成8年10月9日

John W. Daly (アメリカ国立衛生研究所 (NIH))

Chemistry and pharmacology of biologically active molecules :

Adenosine receptors, GABA receptors and ion channels

第1回 和漢薬研究所 研究発表会プログラム

平成8年5月25日(土) 午前9時～午後6時

医学研究棟304講義室

- | | | | |
|---|----------|------|-------|
| 1. 黄耆多糖 (APS) と黄耆フラボン (AF) の正常および担癌マウス・リンパ球
増殖とTリンパ球亜群に対する影響 | 免疫機能制御部門 | 客員教授 | 張 徳山 |
| 2. Paeonimetabolin-I の酵素免疫測定法の開発と応用 | 細胞資源工学部門 | 教授 | 服部征雄 |
| 3. 腎疾患における病態の解明と治療薬の開発に対する基礎研究 | | 助教授 | 横澤隆子 |
| 4. 和漢薬の代謝に関与する腸内細菌遺伝子に関する研究 | | 助手 | 宮代博継 |
| 5. HIV-1 逆転写酵素及びプロテアーゼ阻害を指標とした天然薬物の探索 | | 技官 | 中村憲夫 |
| 6. 伝統薬物の資源開発と民族薬物学 | 資源開発部門 | 教授 | 難波恒雄 |
| 7. Swertia 属植物の生薬学的研究 (1) Ophelia 節植物に由来する中国民間薬
「獐牙菜」及び「青葉胆」について | | 技官 | 山路誠一 |
| 8. 「山椒」及び「花椒」類の基源と品質に関する研究 | 薬効解析センター | 助教授 | 小松かつ子 |
| 9. 癌の悪性化と転移の制御に関する研究 | 病態生化学部門 | 教授 | 済木育夫 |
| 10. 免疫応答性 (遺伝的体質) は変化するか | | 助教授 | 中島松一 |
| 11. メラノーマ細胞の基底膜浸潤及び肺転移に及ぼす神経ペプチド: α -MSH の影響 | | 助手 | 村田 純 |
| 12. 慢性脳虚血ラットの空間学習障害とヒトの脳白質病変 | 生物試験部門 | 教授 | 渡辺裕司 |
| 13. 長期隔離飼育ストレス負荷マウスのペントバルビタール誘発睡眠に対する
ニューロステロイドの影響 | | 助教授 | 松本欣三 |
| 14. 抗うつ薬および和漢薬による遺伝子発現変化 | | 助手 | 東田道久 |
| 15. 脳梗塞モデルラットの作成に関する研究 | | 技官 | 村上孝寿 |
| 16. 数種の和漢薬の実験的肝障害に対する保護作用 | 化学応用部門 | 教授 | 門田重利 |
| 17. 糖鎖一生体機能分子相互作用系への有機化学的アプローチ | | 助教授 | 畑中保丸 |
| 18. 不完全菌 <i>Trichoderma koningii</i> の代謝産物の研究 | | 助手 | 手塚康弘 |
| 19. カルシトニンのホルマリン誘発性痛覚過敏に対する抑制作用と脳内セロトニンの関与 | 臨床利用部門 | 教授 | 倉石 泰 |
| 20. マウスにおける serotonin 誘発痒み関連行動に対する cyproheptadine の抑制
作用の作用部位の検討 | | 助手 | 長澤哲郎 |
| 21. 中枢神経系におけるグルタミン酸遊離の画像解析法の開発
- 痛覚過敏機序におけるグルタミン酸の関与 | | 助手 | 東田千尋 |
| 22. Papain の皮内注射はマウスに痒みを惹起するか? | | 技官 | 林 和子 |
| 23. 高次脳機能の加齢病態およびニューロン死機構と和漢薬作用の研究 | 高次神経制御部門 | 客員教授 | 野村靖幸 |